

放課後化学クラブの漫画のロコミに関するアンケート調査結果

■アンケート調査概要

調査目的	放課後化学クラブの漫画のロコミに関するアンケート調査
調査対象	放課後化学クラブを読んだことのある20代～40代の男女44名
調査期間	・2025年1月26日～2025年1月27日 ・2025年7月11日～2025年7月25日 ・2025年8月21日～2025年8月22日 ・2026年1月1日～2026年1月2日 ・2026年1月16日～2026年1月17日 ・2026年3月21日～2026年3月22日
調査方法	インターネット調査
モニター提供元	ランサーズ
データ使用サイト	https://glucks-web.co.jp/manga-zenkan/houkagokagakukurabu-muryou/

＼今なら300円引きで読める／

放課後化学クラブを今すぐ読む

■アンケート項目

Q1: 年代と性別を教えてください。

Q2: 放課後化学クラブを実際に読んだ評価を5段階で教えてください。

Q3: 放課後化学クラブを実際に読んだ感想を教えてください。

Q1: 年代と性別を教えてください。

回答	回答数
20代男性	1名
30代女性	10名

30代男性	12名
40代男性	4名
40代女性	16名
50代女性	1名

Q2: 放課後化学クラブを実際に読んだ評価を5段階で教えて下さい。

～～作品の5段階評価について～～

★★★★★(とても面白かった): 絵・物語・キャラに魅力を感じた。続きがあればぜひ読みたい

★★★★(面白かった): 漫画の内容で面白かったり、満足できる要素が一つでもあった。

★★★(普通): 面白いとも面白くないとも言えない。

★★(面白くなかった): あまり好きではない描写や要素があった。

★(全く面白くなかった): 読んでいて不快・退屈だった。

★★★★★★	23人
★★★★★	18人
★★★★	2人
★★★	0人
★★	0人
★	1人

Q3: 放課後化学クラブを実際に読んだ感想を教えて下さい。

女の子が小さくて先生と生徒二人でする感じがたまらないです。やってはいけない背徳感にゾクゾクさせられてしまいます。女の子も無垢な感じでとてもかわいらしいし、文句なしに楽しめちゃいます。催眠系だから何されているか本人がわかっていないところもいいんですよね。続編とかあったら是非見たいです。

めちゃくちゃいいお家で大事に大事に育てられたお嬢様が沼にハマってぐちゃぐちゃになっていくさまが最高に刺さりました。催眠のような状態でハマっている様子がめちゃくちゃかわいいしツボでした。文章にするとちょっと鬼畜な感じもしますが、漫画を見ると意外にソフトというかただ気持ちよさにおぼれている感じが可愛い感じで見やすかったです。

先生の繊細な指先のテクニックは必見です。この時の文香のリアクションもすごく興奮できるのでたまりません。

催眠術の効き方がリアルでいいです。文香がターゲットではあるのですが、催眠にかかった時の表情が最高です。

ヒロインの文香ちゃんはまだあどけなさがだいぶ残っていて、可愛いけれど素朴な雰囲気があります。先生も黒髪にマジメそうなメガネをかけた優しいような教師という印象なので、そんな二人の関係のギャップがたまりませんでした。

先生なのに、まさかそんなことを。本人が分かっていないのが救いなのでしょうか。でも知って早くこんな教師の元から逃げてほしい。慣れすぎている。恐ろしいストーリー。催眠って怖いですね。人もまたおそろしいもの。

実際に発しているセリフの文字に、催眠によって文香ちゃんが認識させられているセリフの文字が薄く重ねて書かれているという、思わず鳥肌が立ってしまうような演出の妙に拍手を送りたくまりました。メガネの向こう側が描かれていないため先生に人間味が感じられない点や、先生の文香ちゃんに対する扱いが雑な点も、ますます救いがなくて良い感じだと思いました。

本作のヒロイン文香ちゃんはまだ少し正常な思考が残っていて、その表情にも困惑・混乱がにじみ出ているところが、無垢な存在を蹂躪する背徳感や鬼畜さが大変素晴らしかったです。

わざわざお迎えに。過保護な母親ゆえに放課後居残ることになって、それがゆえに最低教師の毒牙にかかってしまう。とにかくなんとも救いようのないストーリーとなっています。ヒロインの女の子、かわいそうすぎる。それにしても催眠でしょうか。化学の力を駆使しているのか。分からないままにやられてるって恐ろしいことですね。

過保護な母を持つ無垢な少女。恋とかもまだなのかもしれません。ですが分からないままに実は教師にやられてしまっていた。かわいそう系が好きな方にとってうれしいストーリーとなっています。催眠で、本人も分からないままにってことで泣きさけぶのを蹂躪する系が苦手でも安心して読めました。むしろこちらの方が残酷かもしれませんが。

教師の不祥事も数多く取りざたされており、学校だって決して安全な場所じゃあないんですよ。ましてやこの教師。催眠でしょうか。分からないままに彼女は教師の餌食になっている。無理やり系でもかなり最悪なパターン。逃げようとするこすらできませんから。過保護に育てられた無垢な女の子が、そこがまたドキドキしちゃうポイントですよ。

かわいそうってのがむしろおかず。でも無理やりで嫌がり泣いてる姿を見るのは忍びない。そんな人の隙間を縫ってピンポイントに突き刺さってくる作品です。セリフが二重になっていて、訳も分からないままに開拓されているのがおもしろい。また彼女の体形とか、母親が過保護でって設定もいい感じにかわいそう感を増幅させてくれている。

自分が揺れているのに工事でもしてるのかなんてのんきに思っていて。少女の心と現実のギャップがおもしろいなと思いました。化学クラブの教師ってのがまたいいですね。なんか怪しい薬とか開発できそう。セリフの二重になるところとか、漫画だからこその良さを十分に生かせてると思う。こんな調子でいろんな子を毒牙にかけているのか。

何をされているか認識できないというのが、とてもポイント高いです。大体はそれが普通のことや良いことのように認識を改竄されますが、この作品はあくまで普通に過ごしている体で進みます。まして親心を逆手に取って、それを踏みこむ形での展開がいいです。絵も綺麗で、必要以上に男キャラが描かれていないので没入感も充分でした。

この作者さんの描く女の子は本当に可愛いですよ。なんだかいたずらしたくなるような、そんな純粋な可愛さがあります。そんな可愛い女の子に対して、催眠で好き放題していくとかドキドキが止まりませんでした。ここに至るまでにながあって、どうしてこうなったのかも知りたいです。

まるでこちらまでも催眠にかけられているような、なんだか不思議な感覚になってしまう作品です。催眠系の漫画も今までたくさん読んできたのですが、圧倒的に静か。静かなのに確実に催眠にかけられているところに本物感があります。読後感もなんだかふわふわしていて、今までの催眠系漫画の中でも一番好きでした。今作は非常に人気があって伝説の作品だと評価する人も多いのですが、私もそう思います。

ヒロインの文香ちゃんが知らないうちにかわいそうな目に遭ってしまうという催眠系のお話。かわいそうではあるのですが、痛い思いだったり本人にトラウマが残るような形ではないので、ドキドキ度的にちょうど最高といったところでしょうか。これ以上かわいそうすぎると今度はかわいそうという感情の方が勝ってしまう絶妙なところだと思います。

清楚というよりは、素朴な雰囲気ヒロイン文香ちゃん。この子が変に墮ちたりするのではなく、知らない間に体が染まっていくような感じのお話の流れがすごく好きでした。せっかくこんなに可愛いのに、いきなり性格が変わってたらちょっともったいないですから。その点、今作はお話のまとまりが最高だなと思いました。また個人的には、この子が見ている夢の内容もゾクゾクさせられて大好きです。

この作品にはヒロインが催眠をかけられるシーンがあるのですが、このときに目がとろーんとなっているのが可愛かったです。その催眠のあと、ヒロインはとんでもない状態になってしまうのですが、そこは実際にこの作品を読んで確かめてみてください。普段はみんなが真面目に過ごしている学校の中で、ヤバイことが行われている背徳感を楽しめる作品でした。

この作品は、人を疑うことを知らない純粋無垢な少女の可愛さを描くのがとても上手だと思いました。明らかに怪しい

先生と、何も知らずに催眠術にかかってしまう少女の怪しい関係性に最後までドキドキさせられます。放課後という生徒がみんななくなった学校の中というシチュエーションも、この作品のドキドキ感をさらに高めてくれる要素になって良かったです。

この作品の見どころといえば、ヒロインが催眠術にかかっているのを表現するシーンです。ヒロインの視点から見ると普通の会話をしているのに、そこから第三者の視点に切り替わってみると、さっきの会話とは全く違ったことをしているという描かれ方をしています。つまりヒロインは催眠術のせいで認知が歪んでいるというのが、セリフでも伝わってくるという非常に上手い演出だなあと思いました。

女の子が何もわからないままイタズラをされてしまう背徳感と、催眠の不思議な世界観を楽しめるのが良かったです。放課後の学校というシチュエーションも、もしかしたら他の先生や生徒が来るかもしれないというドキドキ感を演出しています。女の子の見た目は清純系な可愛さがあって、人を疑うことを知らなさそうな性格の良さにも癒されました。

見どころは何といっても文香ちゃんの表情だと思います。表紙サムネイルからもわかる通り、すごく可愛いのは可愛いのですが、清楚な女の子。東京に住んでいる子というよりは、地方に住んでいそうな、そんな素朴な雰囲気の子です。そんな子があんな表情を見せてくれるわけなのですが、催眠をかけられているのですごく目がとろっとしています。このとろけそうな表情は必見です！

催眠系の漫画の中でも一番好きです。催眠系の漫画は、案外話が強引にまとめられていることが多いと思っていました。辻褃合わせのために、催眠で何でもうまくいくことといった感じです。しかし、そういった類のお話ではなく、しっかり催眠という設定自体を楽しむことができます。もちろん文香ちゃんがかわいそうではあるのですが、催眠をかけられていい気分になってしまっているところもすごくいいので、かなりおすすめの商品です。

先生×生徒が好きなお人におすすめ！絵が綺麗であまり無理やり感は強くないと読みました。いつも渡される飲み物にまさか催眠の何かが入ってるとは思わない。催眠で何をされてるかわからない状態の女の子に先生が好き勝手する描写がたまらなかったです。自分勝手なSっ気がある先生は最高ですね。少ないページの作品でしたが読み応えはありました。

先生と生徒の関係がまず最高！絵もとても綺麗です。催眠状態になっちゃった女の子が可愛いかったです。先生に好き勝手されちゃう女の子も最高でした。おまけにあるお兄ちゃんたちとのシーンもお気に入り、いろんなシーンが楽しめてよかったです。

この作品の見どころは、催眠状態になった女の子が先生に好き放題されてしまう、ドキドキなシチュエーションが描かれているところです。催眠状態なので先生の言動や行動が全く別のことに変換されており、女の子は自分が何をされているのか自覚することはできません。先生と生徒の禁断の関係を覗き見しているような、怪しげな雰囲気が漂ってくるのも今作の見どころとなっています。

儚くて健気な女の子が、実は...という巻き込まれ展開。不幸な展開ではあるものの、それよりも清楚感ある魅力と、それが崩れていく内容に思わずドキドキしました。美少女の描き方と、先生が当然のように一線を越えていく展開があまりにも衝撃的です。人は選ぶと思いますが、人間の本性を描いた展開で非常に奥深い内容だと思えました。

催眠の効果によって、現実と虚構の境界線がわからなくなっていく不思議な描写が印象的な作品でした。ヒロインの文香は純粋で可愛いのですが、その純粋さを先生に利用されてしまうのが可哀想だなと思えました。先生の姿をはっきり見せないことで怪しい雰囲気を強調させる演出も上手く、先の展開が常に気になるようなストーリー構成に引き込まれました。

今や変質者は町にいないだけではない。現場にも現れる。実際に教師による不祥事も多数起きてますから、学校に預けておけば安心なんて思わないことですね。そんな中でもこの教師はかなりヤバイ。しかもそこまでしてながら、本人に気づかれてないって。スマホアプリが最強すぎるんですけど。

わけがわからないままに、よりによって教師になって。そのかわいそうっぷりがマニア心を刺激してくるんでしょうね。小柄な感じとか、丸いひざ小僧とかもまたいい。よく分かっている。催眠系は数多くあるものの、これはかなりいいと思います。意識がはっきりしてわからずにつて、なんとも不思議なジャンル。

この漫画は、一言で言うと非常にねっとりしている本だと思います。催眠系の漫画って案外激しいものが多いのですが、こちらはわりとスローな感じ。でも、教師の卑怯な感じだったりすごくねっとりして小気味悪さを感じさせてくれます。設定だったりキャラ的には珍しいものに見えないのですが、すごく唯一無二な作品だと思えました。お話を通して、すごくスローな感じが妙に癖になってしまいます。

もう治ってるのだから自分で帰らせればいいのに、わざわざ迎えに来てくれる母親。でもそのせいで教師の餌食となってしまう。なんとも残酷なストーリーです。教師と楽しく放課後過ごしてるつもりで、でも実際には。そのギャップもいい。それに合わせて二重写しのセリフがまたいい味出してる。ストーリーもイラストも好きです。

この作品の序盤では、先生とヒロインの文香が仲良しで和やかな関係であることが描かれています。しかし、実はこの先生にはある企みがあることが判明してからは衝撃の展開が続き、どんどんストーリーが面白くなっていきました。文香は先生に何をされているのか全くわかっていないので、それが彼女の純粋さをより引き立てているのが見事な演出だなと思いました。

ファンタジーの世界だとんでもあり。でもリアリティがないんですよ。ごく当たり前の日常で、でもそこに催眠によってまた違った世界が現れる。こういうのが好きです。特にこちらの話。催眠にあっている自覚が少女にはない。少女の中では先生と楽しくスマホを見てるだけで、でも次第に体が心のゆがみを違和感としてとらえてるようで夢にも出てきて。そんなあたりもいい。

この作品のヒロインは、家族仲も悪くなくむしろ両親に大切に育てられていることがわかる女の子です。そのためオトナ系漫画としては珍しく日常生活の中に両親が登場しています。私は、この両親の登場こそがポイントだと思うんです。何も悪くない、素朴で可愛らしく家族に愛されている女の子というのがはっきりわかるからこそ、後のシーンに余計にゾクゾクしてしまいました。

社会人女性の体とは全然違います。ちょっとしたところに、丸みを感じる描写になっていました。指もひざも、やっぱり違う！すごく先生のこだわりを感じる漫画だと思います。女性の体って、年を重ねるごとに肉付きが変わっていきますよね。こういうところをちゃんと描写してくださる先生だけあって、どのシーンもかなりリアルでドキドキしちゃいました。

文香ちゃんの困惑具合が生々しくて、本当にあった出来事のようにリアリティを感じてしまいました。こういう雰囲気を出せる作家って珍しいですね。あくまでも困惑した中で、夢か現実か分からない...という流れなのも最高です。清楚っぽさを感じさせるのはもちろん、セリフ周りもとても練られていて素晴らしい作品でした。

放課後お迎えの親を待つ間のわずかな時間に、科学部の男にいたずらされてしまう女子学生。その最中はずっと催眠状態になるので、何をされても彼女自身はまったく何も覚えてない。そんなふうに夢現の状態でも身体はしっかりと反応していて、目にハートマークを浮かべながら悶える姿はなんとも可愛いです。ちなみに本編に加えておまけも付いてますので、なかなかお得感のある内容になってます。属性が合うならこれはまず買いな一冊でしょう。

いかにもおとなしそうで抵抗できなさそうな子を狙って...。あまりに鬼畜すぎる行為ですが、現実を受け止めきれない展開がトラウマ級。ある意味リアルな描写だと思います。きちんと良くなっているのでもまだ救いはあるのかな？でも、余計に悪質なような。先生が容赦ないのでその突き抜けっぷりはとてつもないです。そこが評価したい点でした。

本人は全然気が付いていなくて、なのにいつの間にか奪われてしまっている。無意識だからこそそのわけのわからぬままに奪われてとといった状況がとにかくかわいそうすぎる。かわいそうがむしろ良いという方には無理やり系とはまた違ったおもしろさがある作品となっているでしょう。彼女の現実と実際に行われていることの対比がいい

許されざる関係性。あくまでも当然のように指示している先生。「ここに座って」「腰を下ろして」とか、スムーズに指示して、それに何故か従ってしまう清楚系女子。テキスト表現の加工も良い演出で、現実を受け止めきれないショックが自然に表現されています。最後のシーンの「花火大会行っていい？」は不穏な空気を感じさせるセリフ...。また玩具にされるんでしょうね。

膝小僧の丸みとか、いろいろなところに若さがあふれているイラストがいいなと思いました。その若い体に訳も分からないままに大人のそれを押し付ける。しかも相手は先生って、なんてかわいそうなんでしょう。なんともご都合なアプリですが、漫画の世界だからこそなんでもありで、認知のゆがみがおもしろいなと思えた作品でした。

本人は優しい先生のもとでのびのびと時間が潰せてラッキーと思っているわけですが、実際のところは卑劣な罠にかかっているのです。これって現実を知らせるべきなのでしょうか。そうすればすぐにも逃げ出すことができますが、一方であまりの事実の恐怖をきたす危険性もあるのです。知らせるべきかどうか迷ってしまいます。

催眠で認知機能がゆがみ、本人が感じている世界と現実とがまったく異なるものに。その危うさが二重写しのセリフで見事に再現されているなと思いました。漫画だからこそその特性をうまく使ったかわいそうな作品。なんとなく違和感を感じているけれど気が付かなくて無意識の世界に揺蕩っている、その雰囲気がいいなと思いました。

漫画全巻の部屋

by (株)グリュックス
